

行政の取り組み

広 報たはら7月1日号では、今後の防災対策の概要をご紹介しましたが、今回は、その詳細や進捗状況をお知らせします。

1 津波避難マップの作成

4頁に掲載のとおり、5月から市と各校区が協働で作業を進めています。

2 防災行政無線…赤色回転灯付屋外子局の整備

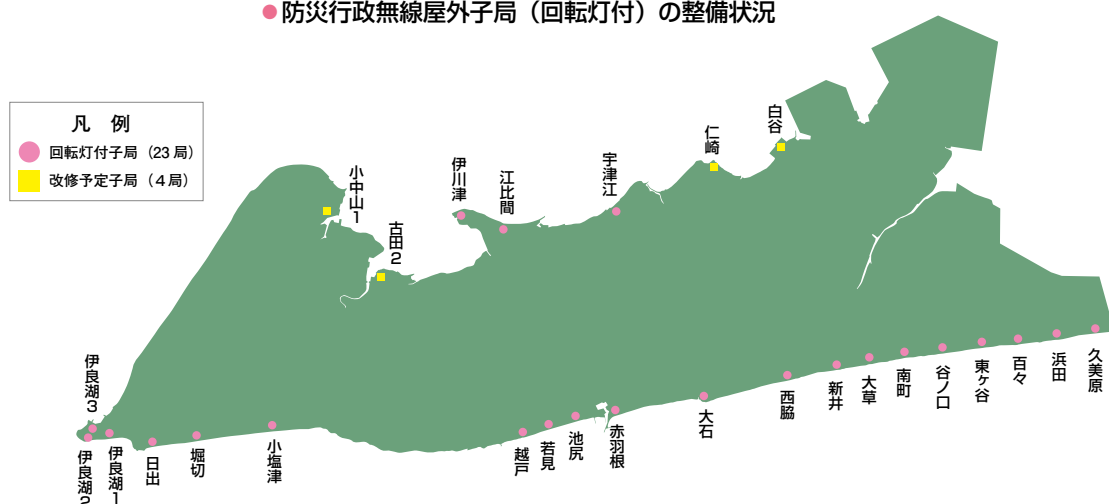
現在、市内の太平洋沿岸を中心に23局の赤色回転灯付屋外子局を設置していますが、さらに津波情報伝達の充実を図るため、新たに三河湾側の4か所の子局に回転灯を整備しています。今後も、必要な箇所に計画的に設置します。

3 地震防災対策基礎調査の実施

東海・東南海・南海地震が同時発生した場合の津波規模・被害予測などについて、調査を実施しています。調査の結果は、平成24年の初めごろにまとまる予定です。「震度」「液状化」「津波（津波高・浸水高・浸水区域・遡上区域など）」の調査結果を基に、さまざまな防災対策を講じます。



● 防災行政無線屋外子局（回転灯付）の整備状況



4 防災計画の見直し

地震防災対策基礎調査の結果に基づき、現在の「田原市地域防災計画」を見直します。（平成24年3月ごろ改正予定）

5 防災マップの作成

地震防災対策基礎調査の結果に基づき、現在の「田原市防災マップ」を改訂し、市内全世帯に配布します。（平成24年3月ごろ配布予定）

6 防災ラジオの整備

行政防災無線の難聴地域を解消し、防災情報を確実に市民に伝達するため、防災ラジオの追加販売を行います。（受付は8月12日で終了）

7 海拔表示の設置

各校区で作成した地震・津波避難マップを基に、海拔表示板を整備しています。今後も、必要に応じて追加設置を行います。

8 その他

今後は、各校区から提出された課題を基に、避難所の見直しや組織・資機材などの充実、避難路や避難誘導灯の整備、自主防災力の向上などを図っていきます。また、国・県に対しても、防潮堤の再整備、樋門の自動化、避難道路の整備などを要望し、市民の皆さんが安全に安心して暮らせるように、各種の防災対策を進めていきます。



市民の安心と安全のため
実情に合った防災対策を目指します